

注3

大学番号：私603

[平成24年度設置]

計画の区分：大学の設置

注1

認可

天理医療大学

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 天理よろづ相談所学園
平成24年5月1日現在

作成担当者

天理医療大学事務局

職名・氏名 事務局長 上野 治彦

電話番号 0743-63-7811

(夜間) 0743-63-7811

F A X 0743-63-6211

e-mail info@tenriyorozu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は認可時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学の概要等	P 1 ~ 4
2	授業科目の概要	P 5 ~ 1 0
3	施設・設備の整備状況、経費	P 1 1
4	既設大学等の状況	P 1 2
5	教員組織の状況	省略
6	留意事項に対する履行状況等	P 2 9
7	その他全般的事項	P 3 0 ~ 3 3

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人天理よろづ相談所学園

(2) 大学名

天理医療大学

(3) 大学の位置

〒632-0018

奈良県天理市別所町80番地の1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	オクムラ ヒデヒロ 奥村 秀弘 (平成23年10月26日)		
学長	ヨシダ オサム 吉田 修 (平成24年4月1日)		
学部長	イナモト タカシ 稲本 俊 (平成24年4月1日)		
学科長等	ヤギ フミコ 屋宜 譜美子 (平成24年4月1日)		
	マツオ シュウジ 松尾 収二 (平成24年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成24年度に報告する内容 → (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成21年度開設の4年制の学科の場合(平成24年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医療学部 看護学科 学士(看護学)	4年	70人	0人	280人	
臨床検査学科 学士(臨床検査学)	4年	30人	0人	120人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 100 () []	人 () []	1.05倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	292 () []	() []		
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	262 () []	() []		
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	107 () []	() []		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	105 () []	() []		
入学定員超過率 B/A							1.05			

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	105	-	
2年次	/		[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	
3年次			/		[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -
4年次	/				[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -
計			[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	105	

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成21年度 入学者	— 人	0 人	平成21年度	— 人	— 人		— %
			平成22年度	— 人	— 人		
			平成23年度	— 人	— 人		
			平成24年度	— 人	— 人		
平成22年度 入学者	— 人	0 人	平成22年度	— 人	— 人		— %
			平成23年度	— 人	— 人		
			平成24年度	— 人	— 人		
平成23年度 入学者	— 人	0 人	平成23年度	— 人	— 人		— %
			平成24年度	— 人	— 人		
平成24年度 入学者	105 人	0 人	平成24年度	— 人	— 人		0 %
合 計	105 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<医療学部 看護学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合基礎科目	人間と社会(いのちの尊厳、人間の理解を深める)	生命と科学	1前	1								
		宗教と科学	2前	1								
		発生・分化・再生	1後		1			1				
		生物学・遺伝学	1前		1							
		化学	1前		1							
		物理学	1後		1							
		身体論Ⅰ(身体の人類学)	2後	1								
		身体論Ⅱ(身体の生理学)	2後		1							
		心理学	2前	1				1				
		臨床心理学	2後		1			1				
	発達とライフサイクル	1後	1				1					
	生活と社会	環境とくらし	1前		1							
		文化とくらし	1後	1								
		政治経済とくらし	4前		1							
		法律とくらし	2後		1							
		家族社会学	2後		1							
		生命と芸術実践演習Ⅰ(複合身体表現A)	1・2・3・4前		1							
		生命と芸術実践演習Ⅱ(複合身体表現B)	1・2・3・4後		1							
		生命と芸術実践演習Ⅲ(演劇表現A)	1・2・3・4前		1							
生命と芸術実践演習Ⅳ(演劇表現B)	1・2・3・4後		1									
生命と芸術実践演習Ⅴ(身体表現A)	1・2・3・4前		1									
生命と芸術実践演習Ⅵ(身体表現B)	1・2・3・4後		1									
生命と芸術実践演習Ⅶ(複合コミュニケーション表現A)	1・2・3・4前		1									
生命と芸術実践演習Ⅷ(複合コミュニケーション表現B)	1・2・3・4後		1									
言語と国際性	英語Ⅰ Reading, Writing	1前	1									
	英語Ⅱ 英会話	1後		1								
	英語Ⅲ 医療英語	2後		1			2					
	外国語学研修	2・3・4前		1			1		1			
協働的医療実践の基礎	人間関係とコミュニケーション	1前	1			4	1	5	4			
	相互扶助論Ⅰ(共同的活動演習)	2前	1			1		1	1			
	相互扶助論Ⅱ(援助・支援関係形成演習)	3前		1		1		1	1			
	フレッシュマン・セミナー	1前	1			11	3					
	医療の歴史と現在	1前		1								
	医療における科学的思考	1後	1			1						
	保健統計学	1後	1									
	医療安全学Ⅰ(概論)	1後	1			1						
	医療実践基礎実習	1前	1			10	3					
	情報科学演習Ⅰ(基礎)	1前	1									
	情報科学演習Ⅱ(応用)	1後		1								
共通専門基礎科目	体のしくみと医療	医療概論	1前	1			1					
		生化学	1後	1								
		生化学実験	1後		1							
		栄養学	2前	1								
		臨床栄養学	2後	1								
		薬理学Ⅰ(総論)	1後	1								
		薬理学Ⅱ(各論)	2前	2								
		感染とその防御	1前	1								
		体のしくみと疾病の成り立ちⅠ(顕微生理・骨格・神経・感覚)	1前	2				1				
		体のしくみと疾病の成り立ちⅡ(呼吸・循環)	1後	2				1				
		体のしくみと疾病の成り立ちⅢ(消化・栄養)	1後	2				1				
		体のしくみと疾病の成り立ちⅣ(腎尿路・内分泌)	2前	2								
		体のしくみと疾病の成り立ちⅤ(免疫・感染)	2前	2				1				
		体のしくみと疾病の成り立ちⅥ(生育・血液・代謝)	2後	2								
協働的医療実践の展開	関係法規	2前	1									
	保健医療福祉行政論	2後	1									
	衛生管理学	3後		2								
	社会福祉原論	3前	1									
	障がい論	3後	2									
	医療安全学Ⅱ(実践論)	4後		1			1					
総合臨床演習	4後		1			4			1			

看護専門科目	共通基盤看護学	共通基盤看護学概論Ⅰ〔看護の概念の探究〕	1前	2			1				2		
		共通基盤看護学概論Ⅱ〔発達段階の特徴と看護〕	1後	2			2				1		
		実践基礎論Ⅰ〔活動することを支える看護方法〕	1前	2			2				2		
		実践基礎論Ⅱ〔生きていくくみを支える看護方法〕	1後	2				1	1		2		
		実践基礎論Ⅲ〔フィジカルアセスメント〕	2前	2			1	1	1		2		
		実践基礎看護学実習Ⅲ〔生活を整える看護〕	1後	1			4	1	3		10		
		共通基盤看護学実習Ⅰ〔看護過程と看護診断〕	2前	1			1	1	1		4		
		共通基盤看護学実践論Ⅰ〔健康回復過程を支える看護〕	2前	2			1	1			2		
		共通基盤看護学実践論Ⅱ〔セルフケアを支える看護〕	2後	2			1		1		1		
		共通基盤看護学実践論Ⅲ〔急性期療養過程を支える看護〕	3前	2			1		2		2		
	共通基盤看護学実習Ⅱ〔健康回復過程を支える看護〕	2後	2			1	1	2		8			
	共通基盤看護学実習Ⅲ〔セルフケアを支える看護〕	3前	2			1		3		8			
	共通基盤看護学実習Ⅳ〔急性期療養過程を支える看護〕	3後	2			1		3		4			
	臨床応用看護学	老年看護学概論	2前	1			1						
		老年看護学実践論Ⅰ〔高齢者の健康〕	2後	1			1		1				
		老年看護学実践論Ⅱ〔高齢者の生活を支える看護〕	3前	1			1		1				
		老年看護学実践論Ⅲ〔特徴的疾患と看護〕	3後	1			1		1				
		老年看護学実習Ⅰ〔生活の場の変化と健康〕	4通	2			1		1		1		
		老年看護学実習Ⅱ〔健康レベルの変化に応じた看護〕	4通	2			1		1		1		
		母性看護学概論	2前	1			1		1				
		母性看護学実践論Ⅰ〔女性のライフサイクルと健康〕	2後	1			1	1					
		母性看護学実践論Ⅱ〔围産期の看護〕	3前	2			1	1	1		1		
		母性看護学実習	4通	2			1	1	1		1		
		小児看護学概論	2後	1			1						
		小児看護学実践論Ⅰ〔健康な子どもの発達と看護〕	3前	1			1				1		
		小児看護学実践論Ⅱ〔治療過程にある子どもと看護〕	3前	1			1			1	1		
		小児看護学実践論Ⅲ〔子どもの特徴的疾患と看護〕	3後	1			1				1		
		小児看護学実習Ⅰ〔健康な小児の発育と看護〕	3後	1			1			1	1		
		小児看護学実習Ⅱ〔治療過程にある小児と看護〕	4通	2			1			1	1		
		精神看護学概論	2後	1			1						
精神看護学実践論Ⅰ〔こころの健康を支える〕	3前	1			1			2					
精神看護学実践論Ⅱ〔生活の場における看護〕	3前	1			1			2	1				
精神看護学実践論Ⅲ〔治療過程での看護〕	3後	1			2			2	1				
精神看護学実習Ⅰ〔地域の支援と看護〕	3後	1			1			2	1				
精神看護学実習Ⅱ〔医療施設における看護〕	4通	1			1			2	1				
広域発展看護学	広域発展看護学概論	2前	1			1	1	1					
	広域発展看護学実践論Ⅰ〔地域に生きる人々と看護連携〕	2後	1			1	1	1					
	広域発展看護学実践論Ⅱ〔地域連携と社会システム〕	3前	1			1	1						
	広域発展看護学実践論Ⅲ〔在宅療養を支える看護〕	3後	1			1		1		1			
	広域発展看護学実習Ⅰ〔職業生活と看護の実践〕	3後	1			1	1	1		1			
	広域発展看護学実習Ⅱ〔在宅療養を支える看護の実践〕	4通	1			1	1	1		1			
	災害看護論	4前	1					1					
	国際看護論	4前	1										
	看護生涯学習論	4前	1			1	1						
	がん看護論	4前		1					1				
	パブリックヘルスクエア論	4前		1			1						
	ウィメンズヘルスクエア論	4前		1		1	1	1					
	健康支援方法論	4後		1		1		1					
	クリティカルケア論	4後		1		1		1					
	メンタルヘルスクエア論	4後		1		1			2				
	緩和ケア論	4後		1					1				
	看護研究方法論	3後	1			1							
	看護研究演習Ⅰ	4前	1			9	3						
	看護研究演習Ⅱ	4後	1			9	3						
	看護実践能力の探究	4後	1			2	1	3		10			
看護管理論	4前	1					1						
総合実習	4後	2			8	3	6	3	10				

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 82	科目 35	科目 0	科目 117	科目 []	科目 []	科目 []	科目 []	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

<医療学部 臨床検査学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合基礎科目	人間と社会(いのちの尊厳、人間の理解を深める)	生命と科学	1前	1								
		宗教と科学	2前	1								
		発生・分化・再生	1後		1			2				
		生物学・遺伝学	1前		1							
		化学	1前		1							
		物理学	1後		1							
		身体論Ⅰ(身体の人類学)	2後	1								
		身体論Ⅱ(身体の生理学)	2後		1							
		心理学	2前	1								
		臨床心理学	2後		1							
	発達とライフサイクル	1後		1								
	生活と社会	環境とくらし	1前		1							
		文化とくらし	1後	1								
		政治経済とくらし	4前	1								
		法律とくらし	2後		1							
家族社会学		2後		1								
生命と芸術実践演習Ⅰ(複合身体表現A)		1・2・3・4前		1								
生命と芸術実践演習Ⅱ(複合身体表現B)		1・2・3・4後		1								
生命と芸術実践演習Ⅲ(演劇表現A)		1・2・3・4前		1								
生命と芸術実践演習Ⅳ(演劇表現B)	1・2・3・4後		1									
生命と芸術実践演習Ⅴ(身体表現A)	1・2・3・4前		1									
生命と芸術実践演習Ⅵ(身体表現B)	1・2・3・4後		1									
生命と芸術実践演習Ⅶ(総合コミュニケーション表現A)	1・2・3・4前		1									
生命と芸術実践演習Ⅷ(総合コミュニケーション表現B)	1・2・3・4後		1									
言語と国際性	英語Ⅰ Reading, Writing	1前	1									
	英語Ⅱ 英会話	1後		1								
	英語Ⅲ 医療英語	2後		1								
	外国語学研修	2・3・4前		1		1						
協働的医療実践の基礎	人間関係とコミュニケーション	1前	1			4	1			2		
	相互扶助論Ⅰ(共同的活動演習)	2前	1			1						
	相互扶助論Ⅱ(援助・支援関係形成演習)	3前		1		1						
	フレッシュマン・セミナー	1前	1			6	3					
	医療の歴史と現在	1前	1									
	医療における科学的思考	1後	1			1						
	保健統計学	1後		1								
	医療安全学Ⅰ(概論)	1後	1			1						
	医療実践基礎実習	1前	1			10	3					
	情報科学演習Ⅰ(基礎)	1前	1									
	情報科学演習Ⅱ(応用)	1後	1									
共通専門基礎科目	体のしくみと医療	医療概論	1前	1			1					
		生化学	1後	1			1					
		生化学実験	1後	1			1		1	1		
		栄養学	2前	1								
		臨床栄養学	2後		1							
		薬理学Ⅰ(総論)	1後	1								
		薬理学Ⅱ(各論)	2前		2							
		感染とその防御	1前	1			1	1			1	
		体のしくみと疾病の成り立ちⅠ(顕微鏡・骨格・神経・感覚)	1前	2								
		体のしくみと疾病の成り立ちⅡ(呼吸・循環)	1後	2								
		体のしくみと疾病の成り立ちⅢ(消化・栄養)	1後	2								
		体のしくみと疾病の成り立ちⅣ(腎尿路・内分泌)	2前	2			2					
		体のしくみと疾病の成り立ちⅤ(免疫・感染)	2前	2			1					
		体のしくみと疾病の成り立ちⅥ(生育・血液・代謝)	2後	2			1					
	協働的医療実践の展開	関係法規	2前		1							
保健医療福祉行政論	2後		1									
衛生管理学	3後	2			2							
社会福祉原論	3前		1									
障がい論	3後		2									
医療安全学Ⅱ(実践論)	4後	1										
総合臨床演習	4後	1			3	3			2			
臨床検査専門科目	臨床検査学序説	臨床検査学序説	1前	1			2					
		臨床検査基礎実習Ⅰ(口器・試薬・鏡検)	1前	1		1	1		1	2		
		臨床検査基礎実習Ⅱ(秤量・泳動・鏡検)	1前	1		1	1	1		2		
	臨床病理学	臨床病理学総論	4通	2			2					
臨床病理学演習(実例解説)		4後	1			2	1					

臨床検査専門科目	形態検査学	病理学Ⅰ(総論)	2後	1			1				
		病理学Ⅱ(各論)	3前	1			1				
		病理組織検査学	2前	1			1				
		病理組織検査学実習Ⅰ(標本作成)	2後	1			1			1	
		病理組織検査学実習Ⅱ(鏡検)	3前	1			1			1	
		細胞診学	3後	1			1			1	
		血液検査学	1通	2			1			1	
		血液検査学実習	2前	1			1			1	
	形態検査学特論	4後		1			2				
	生物化学分析検査学	臨床化学検査学総論	1後	1			1		1		
		臨床化学検査学各論	2通	2			1		1		
		臨床化学検査学実習	2後	1			1		1		1
		生体構造代謝学	1後	1			1		1		
		環境検査学実習	3後	1			1		1		1
		尿一般検査学	1前	1			1				
		尿一般検査学実習	1後	1			1				2
		放射性同位元素検査学	3前	1							
		分子生物学	2後	1				1		1	
		分子生物学実習	3前	1				1		1	1
	生物化学分析検査学特論	4後		1				1	1		
	病 因・ 査 学 生 体 防 御 検 査	微生物検査学総論	1後	1			1				
		微生物検査学各論	2通	2			1				
		微生物検査学実習	3前	2			1				2
		医動物検査学	1前	1			1		1		
免疫検査学		2前	1			1			1		
免疫検査学実習		2後	1			1			1	1	
輸血・移植検査学		3前	1			1			1		
輸血・移植検査学実習		3前	1			1			1	1	
病因・生体防御検査学特論	4後		1			1					
生 体 機 能 検 査 学	生体機能検査学総論	1後	2			1		1			
	生体機能検査学各論Ⅰ(呼吸)	2前	1			1		1			
	生体機能検査学各論Ⅱ(循環)	2前	1			1					
	生体機能検査学各論Ⅲ(神経)	2前	1			1					
	生体機能検査学各論Ⅳ(画像)	2前	2			1					
	生体機能検査学実習	2後	2			1		1		2	
	生体機能検査学特論	4後		1				1			
検 査 総 合 管 理 学	検査管理学総論	4前	1			1					
	検査管理学演習	4後		1		1					
	検査精度保証学	3前	1			1					
	検査情報システム学	3後	1								
	検査機器学	3前	1								
	医用基礎工学	4前	1								
	医用生体工学	4後	1								
	医用工学実習	4後	1							1	
検査管理学特論	4後		1								
臨 地 実 習 ・ セ ミ ナ ー	臨地実習	3後	10			3	3	2	1		
	卒業研究	4前	7			4	3	2			
	臨床研究論セミナー	4前		1		1	1	1			
	臨床検査体験実習	4後		2		3	3	2	1		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
77	37	0	114	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置認可時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	6588.88 m ²	— m ²	— m ²	6588.88 m ²				
	運動場用地	4794.45 m ²	— m ²	— m ²	4794.45 m ²				
	小 計	11383.33 m ²	— m ²	— m ²	11383.33 m ²				
	そ の 他	— m ²	— m ²	— m ²	— m ²				
	合 計	11383.33 m ²	— m ²	— m ²	11383.33 m ²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	12,141.05 m ² (12,141.05m ²)	— m ² (— m ²)	— m ² (— m ²)	12,141.05 m ² (12,141.05m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	10 室	18 室	13 室	0 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	医療学部			40 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	※電子ジャーナルは契約の準備を進めており、文献検索ソフトCHINAL with FULL TEXTを導入したことにより、外国誌3,000誌が閲覧可能(24)	
		医療学部	30,978 [997] (30,045 [198]) (30,978 [997])	119 [29] (97 [2]) (119 [29])	29 [29] (0 [0]) (29 [29])	626 (626)	2100 (896) (2100)		63 (63)
		計	30,978 [997] (30,045 [198]) (30,978 [997])	119 [29] (97 [2]) (119 [29])	29 [29] (0 [0]) (29 [29])	626 (626)	2100 (896) (2100)		63 (63)
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	617.20 m ²		73 席		36,800 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	693.10 m ²		該当なし						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	※図書、設備購入費は3年計画での整備に変更(24)
		教員1人当り研究費等	340千円 -437千円	321千円 -457千円	図書購入費	5,927千円 -15,080千円	8,000千円 -1,500千円	6,000千円	
		共同研究費等	16,900千円 -42,000千円	21,600千円 -45,600千円	設備購入費	135,440千円 -188,269千円	34,300千円	0千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	※教員研究費、共同研究費は、寄附行為認可申請の修正が反映されていないため変更(24)	
		1,790千円	1,490千円	1,490千円	1,490千円	—	—		
学生納付金以外の維持方法の概要		寄附金収入、雑収入等							

- (注) ・ 設置認可時の計画を、認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	天理医療大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
医療学部 看護学科	年	人	年次人	人	学士(看護学)	倍	平成24年	奈良県天理市別所町80番地の1	
臨床検査学科	4	70	0	280		1.06			
	4	30	0	120	学士(臨床検査学)	1.03	平成24年		
大学の名称	〇〇短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
該当なし	年	人	年次人	人		倍			

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校(AC対象学部等を含む)について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (23年10月)	1. 設置の趣旨・目的が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。 2. 専任教員の補充を必要とされた2科目については、完成年度までに、確実に専任教員を配置すること。	教育研究活動の水準を高めるべく、積極的に設置計画のうち、備品、図書の購入内容を再検討し、質の向上に努めている。(24) 昨年10月の認可から現在に至るまでに当該2科目を担当する専任教員の配置はできていない。(24)	図書及び備品に関しては、初年度の教育研究活動に支障はないが、申請時の価額、品数を充当できていないため、申請内容を平成25年度中に履行できるよう整備する。(24) 専任教員の補充が必要とされた2科目のうち、国際看護学については本年7月の教員審査に向け準備を進めている。残る障がい論については、適任者の選定を進めると同時に、専任教員の中での適格者の養成も検討している。(24)
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)	該当なし	該当なし	該当なし

(注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<医療学部>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>①入学者の受け入れ方針</p> <p>一般試験では、学力試験の科目は、看護学科と臨床検査学科のいずれも同じ範囲とし、その中の科目指定や選択科目の選択方法を下記の表に示すように、それぞれの学科の育成する人材の基礎的な能力を問うのに適したものとしました。さらに、その他の選抜方法については、看護学科ではコミュニケーション能力を評価するグループ・ディスカッションを行い、臨床検査学科では、自律した考えや他者への配慮を評価する面接試験を行う。</p> <p>②管理運営—管理運営のための体制</p> <p>大学管理のための体制として教授会、運営審議会と点検評価審議会を置く。教授会は、教育・研究の管理運営に関する事項について審議を行い、理事会の議を経て、教授会の元にある委員会の活動を通じて管理運営する。運営審議会は、法人並びに大学の経営、安全管理などに関する事項について審議を行い、理事会の議を経て、運営審議会の元にある委員会の活動を通じて管理運営する。点検評価審議会は、教員の評価、自己点検、研究の倫理、人権などに関する事項について審議を行い、点検評価審議会の元にある委員会の活動を通じて管理運営を行う。</p> <p>③教授会—構成、審議事項、委員会</p> <p>(1) 構成</p> <p>教授会は専任の教授をもって組織する。教授会が必要と認めたとときは、その他の教職員を加えることができるとしている。</p> <p>(2) 審議事項</p> <p>教授会は教育・研究の管理運営に関する次の事項について審議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学部または学科の教育研究計画及び教育課程の編成に関する事項 ・教育の内容及び授業方法の改善に関する事項 ・学部の教育研究に関する組織や制度の整備・改編に関する事項 ・入学者選抜に関する事項 ・学生の試験及び単位の認定に関する事項 ・学生の留学、休学、退学、卒業等の学籍及び学位授与に関する事項 ・学生の生活、厚生、進路等の指導・支援及び賞罰に関する事項 ・教授会の下に設置された委員会等の規則等の制定及び改廃に関する事項 ・教授会の下に設置された委員会等の規則等の制定及び改廃に関する事項委員会委員等の選出に関する事項 ・その他教育研究に関する重要事項 <p>(3) 委員会</p> <p>教授会で審議する事項を立案、計画し、教授会で決定され、理事会で承認された活動内容を実施するために下記の委員会を置く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入試委員会 ・教務委員会 ・学生委員会 ・研究委員会 	<p>①入学者の受け入れ方針</p> <p>より適切な人材を得るために、教育体制が良好な高等学校を指定した指定校推薦入試と公募推薦入試を併用する。指定校推薦においては、高等学校での成績評価を参考にして一定以上の学力があることを評価し、面接試験を行う。公募推薦入試では、学力評価に学校による差があるので、数学、化学、生物のうちから科目を選択する学力試験を課し、小論文試験と面接試験の結果と総合して選抜する。</p> <p>より適正に入学者を選抜するために、一般入試の学力試験は大学入試センター試験を利用し、選択科目を看護学科は国語、英語および数学・生物・化学の中の1科目とし、臨床検査学科は国語、数学、生物・化学・物理の中の1科目とした。また、自律した考えや他者への配慮を評価するために、両学科とも小論文試験と面接試験を個別試験として行うこととした。</p> <p>②管理運営—管理運営のための体制</p> <p>管理運営—管理運営のための体制の中での教授会の位置づけをより明確にするために名称を教育・研究審議会に変更した。これに伴い学則を修正した。</p> <p>③教育・研究審議会—構成、審議事項、委員会</p> <p>教育・研究審議会（教授会より名称変更）の管理運営上の責任体制を明確にするために、その構成を、学長を委員長とし、選任の教授に加えて、事務局長をその委員に加えた。また、審議事項に図書に関する事項を加え、図書委員会を設置した。これに伴い学則を修正した。</p>

<p>④ 運営審議会の審議事項</p> <p>3 運営審議会</p> <p>(1) 構成</p> <p>運営審議会の構成は、理事会の指名する理事2名、学長、学部長、学科長、事務局長、専任教授、運営審議会が任命した学識経験者からなる。</p> <p>(2) 審議事項</p> <p>運営審議会は、法人並びに大学の経営、安全管理などに関する事項について審議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学の経営に関する事項 ・大学の広報に関する事項 ・大学の将来計画に関する事項 ・大学の教員・教育組織の能力開発に関する事項 ・大学の安全管理に関する事項 ・運営審議会の下に設置された委員会等の規則等の制定及び改廃に関する事項 ・運営審議会の下に設置された委員会委員等の選出に関する事項 ・その他大学の運営に関する重要事項 	<p>④ 運営審議会の審議事項</p> <p>大学のIT環境の整備・拡充を図ることを運営審議会の活動の一つとしてより明確に位置づけるために、運営審議会の審議事項にIT環境の整備・拡充に関する事項を加えた。これに伴い学則を修正した。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

教員・教育組織能力開発委員会を設置した。4月以降小委員会（授業公開に関する）を設置した。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

月1回開催し、委員会に委員全員が参加している。

c 委員会の審議事項等

- 1) 大学の教育方法等に関する内定教員打合せ会の計画
- 2) 内定教員打合せ会の記録集発行について
- 3) 開学時に着任する教員オリエンテーションの計画
- 4) 教員等の業績のとりまとめ ※1)～4)は平成23年度
- 5) 授業評価アンケートの実施計画
- 6) ワークショップ・講習会・講演会の計画
- 7) 授業公開についての検討
- 8) 教育方法に関する事項の検討
- 9) 教員の能力開発に関する事項の検討

② 実施状況

a 実施内容

- 1) 内定教員打合せ会の実施
- 2) 高等教育開発フォーラムへの参加
- 3) 教員オリエンテーションの実施
- 4) 教員等の業績のとりまとめ ※1)～4)は前年度担当者にて実施。
- 5) 授業評価アンケートの様式について確定した。

b 実施方法

- 1) 内定教員打合せ会を本学校舎あるいは天理よろづ相談所病院外来棟講堂を使用して計8回実施した。
- 2) 平成23年8月29日に立命館大学で行われた第1回高等教育開発フォーラムへの委員2名が参加し、教育方法についての情報を収集した。
- 3) 平成24年4月1日～4月7日までの着任教員のオリエンテーションを計画し、実施した。
- 4) 平成23年度の教員等の研究業績のとりまとめをおこなった。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- 1) 内定教員打合せ会には16～40名の教員等が参加した。1～6回までの打ち合わせ会ので使用された資料を記録集として発行した。
- 2) 第1回高等教育開発フォーラムへの委員2名が参加し、討議内容を委員会で報告した。
- 3) 教員のオリエンテーションには教員等が全員参加した。
- 4) 平成23年度の教員等の研究業績のとりまとめをおこなった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- 1) 学内教員のFD研修会に期待するニーズを調査して、研修会の年間計画を立てる予定である。
- 2) 授業改善に特化した講師の講演会を計画し、実施する予定である（11月）。
- 3) 前期授業評価をもとに 学内でFDに関する研修会を計画し、実施する。
- 4) 授業資料のオープン化とともに、授業公開の方法について小委員会で検討中である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各科目終了時に学生に対する授業評価アンケートを実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員や学生への公開の方法・時期については、詳細を検討中である。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

自己点検評価実施委員会を設置し、自己点検評価の項目の検討を開始した。また、平成24年5月13日に開催予定の「大学機関別認証評価等に関する説明会（独立行政法人大学評価・学位授与機構主催）」に参加し、自己点検評価の実施方法についての情報を収集する予定である。

② 自己点検・評価報告書

自己点検評価実施委員会を開催し、自己点検評価の項目や記載方法について検討している。

a 公表（予定）時期

開設年度より毎年年度報告をまとめ、逐次公表するとともに、自己点検・評価報告書としては、完成年度の翌年（平成28年度）に公表の予定である。

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣大学及び希望があった学生に各1冊を配布予定
- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

平成28年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(2012年6月頃を予定)

天理医療大学教員・教育組織能力開発委員会規則

(設置)

第1条 本学に、運営審議会規程第9条の規定により、教員・教育組織能力開発委員会（以下「委員会」という）を置く。

(組織)

第2条 委員会は、次の各項目の委員をもって組織する。

(1) 専任教授4～6名

(2) 専任准教授または専任講師および専任助教6～8名

(3) 前号に規定する以外の者2名以内

2 前項第1項および第2項は、その選任された職位を失ったときは、委員の資格を失うものとする。

3 委員は、運営審議会が任命し、任期は2年で、再任を妨げない。また、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(審議事項)

第3条 委員会は、次の事項について審議する。

(1) 教育方法に関する事項

(2) 教員の能力開発に関する事項

(3) 教育に関する研究会・講演会等に関する事項

(4) 委員会の下に設置された小委員会等の内規等の制定及び改廃に関する事項

(5) 委員会の下に設置された小委員会委員等の選出に関する事項

(6) その他大学の教員・教育組織能力開発に関する重要事項

(委員長・副委員長)

第4条 委員会の委員長および副委員長は運営審議会が指名する。

2 委員長に事故あるときは副委員長がこれに代わる。

(招集・議長)

第5条 委員会は、委員長が招集し、議長を務める。

(開催)

第6条 委員会は、定例および臨時の2種とする。

2 定例委員会は、原則として月1回開催する。

3 臨時委員会は、委員長が必要と認めるとき、または委員総数の3分の1以上の要求があつたときに開催する。

(定足数)

第7条 委員会は、委員総数の3分の2以上の出席がなければ議を決すること

はできない。但し、当該議事につき書面をもってあらかじめ意思を表示した者は出席者とみなす。

(議 決)

第8条 委員会の議決は、議長を除く出席者の過半数の同意によらなければならない。ただし、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(参考人)

第9条 議長は、必要と認めるとき構成員以外の者を会議に出席させ、報告、または意見を求めることができる。

(小委員会等)

第10条 委員会は、必要に応じて小委員会等を設置することができる。

2 委員会等の内規は別に定める。

(議事録)

第11条 議事録は、委員長が作成し、委員会の承認を得て、委員長が保管する。

(規則の改廃)

第12条 本規則の改廃は、委員会の議を経た上で、運営審議会の承認を得なければならない。

附 則

この規則は、平成24年4月1日から施行する。